



Kiryu Chamber of Commerce and Industry

No. 763

1

2019

だより

桐生商工会議所NEWS

Topics 山口会頭年頭のあいさつ
桐生商工会議所平成30年の歩み



桐生の映る風景

～わがまち「ロケ地」探訪～

SCENE. EX 新年特別編

桐生新町重要伝統的建造物群
保存地区(本町・天神町)

「妻の心」(1956)

2012年に国の重要伝統的建造物群保存地区(以下、重伝建地区)に選定された本町一・二丁目を中心とする桐生新町重伝建地区は、江戸時代に町立てされた敷地形態に絹織物業に係る建造物が一体となり、桐生ならではの歴史風致を伝えている。

以前、当コーナーで紹介した「妻の心」(成瀬巳喜男監督)では、この重伝建地区が主人公たちの「日常」の景色として、作品のオープニングとラストシーンを飾る。そんな桐生を映す重伝建地区では、近年、工房や店舗、オフィス、カフェなどの相次ぐ出店や意欲的なイベントが開かれ、歴史と伝統に留まらない新しい文化が胎動している。積み重ねてきたものに多彩な感性がハイブリットされた現代の歴史エリアは、時代の節目となる2019年も桐生の象徴として輝きを増していく。



平成30年度
桐生商工会議所
スローガン

1. 経営発達支援計画の実践による中小・小規模事業者への「伴走型支援」を推進しよう
2. 計画的な事業承継対策に取り組もう
3. 桐生・みどり両市の広域経済交流を促進しよう
4. 近代化産業遺産や地域資源を活用した産業観光を推進しよう
5. 桐生活活性化につなげる地方創生に取り組もう
6. 会員事業所の繁栄と発展に取り組み、併せて「2,000」会員を目指そう

Contents ■■■ 2019. 1

■ 山口正夫 桐生商工会議所会頭 年頭挨拶	1
■ 亀山豊文 桐生市長／群馬県商工会議所連合会会長 年頭挨拶	2
■ 日本商工会議所会頭 年頭挨拶	3
■ 全日本製造業コマ大戦桐生場所 報告／第2回ビジネスプレス発表会 報告	4
■ 両毛五市会議所協議会 関東経済産業局長と懇談／経営発達支援計画外部評価委員会 報告	5
■ 関係団体等の新年会開催日程／会員感謝の集い 案内	6
■ 桐生商工会議所 役員・議員等名刺広告(年賀広告)	7～10
■ 桐生商工会議所 関係団体 年賀広告	11
■ 桐生商工会議所 平成30年の歩み	12・13
■ 両毛5市ネットワークコーナー(各商工会議所会頭年頭挨拶)	14・15
■ 第24回ファッションタウン桐生写真コンテスト審査結果	16

ピックアップデータ

会 員 数
1,885人
(+ 4)
12/1現在(特別会員を含む)。

人 口 112,203人 (- 107)
世 帯 数 49,940世帯 (- 29)
商工業者数 4,773人 (± 0)

人口、世帯数は11/30現在、商工業者数は平成28年経済センサスより算出。

有効求人倍率(10月)

前月比
◆ 桐 生 1.16 (- 0.08)
◆ 群馬県 1.69 (- 0.02)
◆ 全 国 1.62 (- 0.02)
桐生公共職業安定所調べ

郷土銘酒

赤城山

近藤酒造株式会社

TEL 72-2221(代) FAX 73-1603

飲食店繁盛&軽減税率セミナー

日時 2月6日(水) 14:00～16:00

会場 桐生商工会議所 3階 305号室

主催 (有)山上会計事務所／桐生中央税理士法人

お申し込み・お問い合わせ ☎0277-46-1122 まで

参加費
一般 2,000円





二〇一九年 新春を迎えて



桐生商工会議所
会頭 山口 正 夫

2019年の年頭にあたり、桐生商工会議所会員の皆様に新年の挨拶を申し上げます。

さて、送りました2018年のわが国経済は、堅調な企業業績や所得環境に支えられて、景気は回復基調にあり、設備投資も増加していると言われます。その反面、人手不足の深刻化、国の財政や社会保障制度に対する不安が生じており、地域経済や中小・小規模事業者は引き続き厳しい状況にあります。経済成長の主役は中小企業・小規模事業者であり、直面する課題を解決していくことが日本経済の繁栄へとつながるものであり、事業者をサポートする商工会議所の役割がますます重要になってきております。

桐生商工会議所が平成27年度から進めております「経営発達支援計画」は、新年度が5年目の計画最終年度となります。小規模事業者に寄り添いながら経営課題など根本的な解決を図るための実践を通して、多くの支援成果があがっております。支援体制については会議所議員全員が専門家として登録し、行政・諸官

庁、金融機関、各士業の諸機関、専門家の皆さま方の協力を得てワンストップ相談窓口を構築しております。職員も全員体制で支援事業に取り組み、支援マニュアルの共有化、支援ノウハウの学び合いによりスキルアップを図りながら現場で活動しております。本年も小規模企業政策は地域に根差した商工会議所が行うべき事業ということを役員全員で認識し、総力をあげて取り組んでまいります。

全国的にも大きな課題となっている「事業承継」は桐生信用金庫と桐生市との三者包括連携協定のなかで行ったアンケートでは後継者が決まっていない事業所が65%という深刻な結果が出ていることから、関係諸機関との連携のもとセミナーなどの開催を通して企業のニーズを把握していきたいと存じます。

昨年は日本に商工会議所が誕生してから140年という節目の年でしたが、創立以来、会議所の根幹事業と言うべき活動が政策提言です。当所は、より多くの会員の声や地域の要望を反映させていくために、部会並びに委員会での積極的な議論を踏まえ、また、青年部、女性会などの立場からのご意見を聴きながら、さらに各業界にわたり幅広く意見聴取ができる体制を整えて、より具体的で実効性のある提言をまとめていきたいと存じます。

年度スローガンに掲げております「桐生・みどり両市の広域経済交流の推進」、「近代化遺産や地域資源を活用した産業観光の推進」、「地方創生への取り組み」、「会員事業所の繁栄と発展」につきましても、会議所機能の総力をあげて取り組んでおりますが、役員議員各位の絶大なご協力をいただき展開している会員増強につきましては、2,000会員達成を是非とも実現していきたいと存じます。

当所のまちづくり構想であるファッショントアウンの

取り組みは、推進協議会発足から22年を迎え、産官学民一体となったメンバーの尽力により「めざせ、小さな世界都市」の合言葉のもと地方創生につながる諸事業を展開してまいります。「マフラー・ストールブランド化」事業につきましては、関係する事業者の方々のご理解とご協力を戴きながら産地が培ってきた技術・機能を活かし、さらに斬新なデザインと融合した試作品開発を進めておりますので、近く皆様にご高覧いただける機会を作りたいと存じます。

人口減少、少子化、超高齢化が進む桐生市ですが、自然環境や四つの軌道路線を含む多様な交通アクセス、伝統的な地場産業の織物・繊維産業や先進の機械金属工業をはじめとするものづくり、進取の気性のある市民性と緊密なコミュニティなど豊かな風土と地域資源を持つております。経済、社会など様々な分野でのキーワードで「レジリエンス」という言葉があります。

「回復、弾力」から「逆境から早く立ち直り、成長する能力」を意味しており、まさにこれからの桐生市の道筋を示す言葉ではないでしょうか。多くの資源の集積を活かし、強い意志と知恵と創意と熱意をもって、柔らかくしたたかに桐生の活性化に取り組んでいけば、必ず「豊かで元氣な桐生の未来創生」が実現できると確信しております。

「会員企業の繁栄」と「地域の活性化」、「地域経済の発展」に向け、役員・議員・職員が一体となり、国・県・市並びに関係機関や各種団体とのより緊密な協調体制を図りながら、力を尽くしていく覚悟であります。皆様におかれましては、それぞれのお立場で事業の繁栄に精進され、新しい年が業界はもとより、桐生市の限らない発展につながる年になりますことを祈念申し上げ、併せて皆さまのご健康とご多幸をお祈りし、年頭の挨拶といたします。

年頭あいさつ



桐生市長
亀山 豊文

明けましておめでとうございます。商工会議所会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年は「第55回桐生八木節まつり」が猛暑に見舞われ、ジャンボパレードの中止など一部の催しが内容変更を余儀なくされた一方、県内で初めて招へいた航空自衛隊「ブルーインパルス」による展示飛行が披露され、例年にも増してまちは大いににぎわいました。

また、昨年は「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定から4年目を迎え、産業の活性化や雇用の創出に向けた「桐生武井西工業団地」への企業誘致を進めたほか、桐生市の豊富な森林資源の活用を促進し、森林環境の整備や木材生産活動の活性化を図るため、複合木材市場の多機能集積集荷場の整備を支援い

たしました。今後も、市長就任以来の基本政策である「元気で活力あるまちづくり」、「安心して暮らせるまちづくり」、「子供のための未来づくり」に基づき、桐生ならではの地方創生を目指した各種施策を推進してまいります。

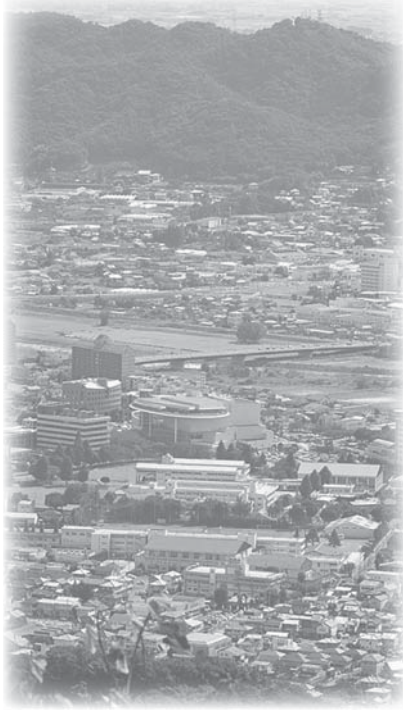
経済界に関連の深い本年の主な取組といたしましては、「桐生武井西工業団地」への企業誘致のさらなる推進を図るとともに、桐生商工会議所をはじめとする市内の創業支援事業者が連携して「桐生市創業支援事業計画」に基づく取組を進める中、桐生市としては創業希望者などの事業ス

ペースを確保するための「桐生市インキュベーションオフィス」の運営や、「桐生市空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金」による支援などを継続してまいります。さらに、都市整備では、桐

生市の将来を見据えた市有施設の計画的な維持・更新を行うため、老朽化した市民体育館や陸上競技場、桐生消防署東分署の整備を推進いたしました。また、居住や都市機能の立地を誘導し、持続可能な都市構造への再構築を図ることにより、少子高齢化・人口減少社会に対応するための「桐生市コンパクトシティ計画（立地適正化計画）」を策定いたします。

今後も、皆様の声を市政運営に反映させることに努め、「誰もが住みたいと思えるまち桐生」の実現を目指してまいりますので、これまでと変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、商工会議所会員の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



(一社)群馬県商工会議所連合会
会長

曾我 孝之

新年おめでとうございます。皆様にはご清祥のうちに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年の日本経済は概ね底堅い状況であったかと思えます。近年の世界的な動きを見れば、反グローバルイズム等の台頭があり、その広がり懸念されますが、我が国にとっては、自由貿易体制の維持・推進こそ国・地域の発展には欠かせない方向性であると考えます。今年もこうした世界の状況を

考えるときまだまだ予測が難しい年になると思えますが、日本経済の堅調な流れが、地方及び中小企業にも大きく波及することを心から願っております。

現在、われわれ中小企業・小規模事業者にとって、大きな課題の一つは人手不足です。大企業に先行する形で深刻さを増しています。また一方で後継者の確保に頭を悩ませている事業者が数多くあります。そんな中、商工会議所では会員事業者それぞれの抱える

課題の解決に向けて相談支援活動を積極的に行うとともに、それぞれの地域における、魅力あるまちづくりを創造する取組や、イベントなどを本年も引き続き積極的に開催していくこととしております。ひとつの商工会議所だけでなく、県内、県境を越えて協力し合うなど、少しでも地域が元気になるような広域的な事業も推進したいと考えています。

私も群馬県商工会議所連合会といたしまして、地域の総合経済団体として、地域産業と住民の意向を踏まえ、政策提言をタイムリーに発信し、地域経済活性化策についても広い視野で、国や自治体などにも強く要望してまいります。

商工会議所は地域の総合経済団体としてこれまでも増して、皆様と寄り添いながら、会員の皆様と地域に期待される団体となるべく一層努力を重ねることをお誓い申し上げます。とともに、本年が皆様にとって実り多い年となりますよう祈念し新春のご挨拶いたします。





日本商工会議所
会 頭
三 村 明 夫

明けましておめでとうございます
平成31年の新春を迎え、謹んで
お喜び申しあげます。

各地商工会議所の皆さまにおかれましては、各地域の経済の発展また日本商工会議所の諸事業に対して、日頃から一方ならぬご支援・ご協力を賜り、年頭に当たり厚く御礼申し上げます。

世界経済は、IMFによれば、2018年の経済成長率はプラス3・7%を維持するものの、2019年の見通しはプラス3・9%からプラス3・7%に下方修正されました。これは、主に米国トランプ政権の保護主義的な貿易政策が、米中貿易摩擦などの形で徐々に具体化してきたことなどを反映したものであり、貿易摩擦が今後さらに過激化すれば、さらなる下方修正リスクもないとは言いきれません。

米中貿易摩擦は、今後交渉の中で部分的な妥協はあり得るのかもかもしれませんが、単なる貿易摩擦ではなく、安全保障を含めた最新技術の主導権争いに端を発した米中間の覇権争いと捉えるべきであり、従って長く続くことを覚悟すべきだと思います。われわれ経済人はそのような状況の中でどのように生き残っていくべきかを模索していく必要があります。

一方、トランプ政権の極めて不

安定な政策は、日本に主体的な対応を求めています。米国がTPPからの離脱を決めた後、日本が国際社会で初めて主導的な役割を果たして、残った国々でTPP11を成立させることができ、昨年末には無事発効いたしました。日EU・EPAも、ランプ政権の動きを見てEUが急に熱心となり、署名にまで進むことができました。日中関係も中国側の態度に変化があり、両国首脳の相互往来を経て新たな次元での関係強化が確認された年となりました。

わが国の国内情勢に目を転じれば、依然として個人消費に力強さを欠くものの、経済が引き続き緩やかな拡大傾向を続ける中で、需給ギャップも一昨年よりプラスに転じ、賃金も上昇を続けており、もはやデフレではない状況に達したといえます。今こそ、人手不足・少子高齢化・低い生産性・地方の疲弊など、わが国の構造的課題の解決に向け、生産性の向上などのサプライサイドの経済政策を押し進めるとともに、社会保障の持続可能性の向上と財政健全化にも

取り組むべきであります。昨年秋季には安倍総理の3選も決まり、世界に誇るべき安定的な政権運営基盤が整いました。是非ともアベノミクスをステージアップさせ、「足元の安心」から「将来の安心」により軸足を移した経済財政政策の検討と推進を望みたいと思います。内外情勢がこのように大きく変化する中、民間企業も自己変革に取り組まねばなりません。深刻化する人手不足にどう対応していく

のか、A・I・I・O・Tなどの第4次産業革命における技術革新をどのように活用して自らの生産性を高めていくのか、海外市場を自らの成長にどう結びつけていけばよいのか。不確実・不透明な時代であるからこそ、企業経営者は目の前の課題をむしろチャンスとして前向きに捉え、自ら果敢に挑戦すべき時を迎えています。

そうした中、われわれ商工会議所は、地域の経営者に寄り添いながら、変化の波を新たな成長へとつなげていく動きを後押しする使命があります。まさに、企業の発展が地域経済社会の発展につながり、そして日本全体の発展につながっていくべきであり、商工会議所創立から140年を経た今こそ、渋沢栄一翁が述べた「公益と私益の両立」の原点に立ち返り、自覚も新たに活動すべきであります。

私もまた、中小企業に日本の課題が最も早く押し寄せる故に、中小企業の課題を解決することが日本経済の成長に直結するものだ」との信念の下、本年、商工会議所が取り組むべきものとして、以下の課題を掲げ、重点的に取り組んでまいりたいと思います。

1 点目は、「人手不足への対応と生産性向上」に向けた取り組みです。人手不足が中小企業の最大の経営課題となっている今、人材の確保・定着や生産性の向上に最優先に取り組まなくてはなりません。女性・高齢者・外国人など、多様な人材の活用とともに、業務運営の見直しも含めた働き方改革の推進や、IT・IoT、ロボットの

AIなど革新的技術の活用を通じて生産性の向上を図っていく必要があります。日本の全企業数の99・7%を占める中小企業の生産性向上なくして、わが国全体の生産性向上と持続的成長は不可能です。商工会議所としても、経営者の「気づき」を促し、身の丈に合った形でIT・IoTやAIを身近な経営改善に活用いただけるよう、すそ野の広い支援事業を積極的に展開してまいります。

2点目は、「中小企業の活力強化と地方創生」への取り組みです。経営者の高齢化や後継者不足により、地域経済の基盤である中小企業の廃業数は増加が続いています。昨年、事業承継税制が抜本拡充されたことをテコに、円滑な事業承継を支援し、価値ある事業の存続を図るとともに、新たな創業も促していくなくてはなりません。地域において中核となる企業の存続と新たな創業は、そのまま地域の活性化とわが国の成長につながる極めて重要な課題です。商工会議所は、国の支援施策もフル活用させていただき、地方銀行などの協力も得ながら、引き続き円滑な事

業承継、創業支援に取り組んでいます。また、農商工連携、地域資源を活用した観光振興、中小企業の海外展開など、域外需要の獲得と真の地方創生に向けてさらに取り組みを強化してまいります。特に本年は、日本が議長国を務めるG20サミットやラグビーワールドカップが予定されており、また2020年には、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの

開催を迎えるなど、世界的なビッグイベントが続きます。これらはわが国の魅力を世界にアピールする絶好の機会であり、インバウンドのみならず国内観光を含めた観光振興により、地域活性化に尽力してまいりたいと思います。

3点目は、2019年10月1日に予定されている「消費税率引き上げ」への対応です。消費税率引き上げ前後の需要変動に対する平準化対策に関しては、取引価格への円滑な価格転嫁が大前提でありそのためには中小事業者への十分な配慮と支援が必要です。また軽減税率に関しては、導入まで残り1年を切っている中で、昨年9月時点での日商の調査によると、多くの事業者が未だ準備に取り掛かっていない状況が明らかになりました。軽減税率は日本として初めての経験となりますので、一刻も早く準備を進めることが必要です。これまでも多くの商工会議所で説明会・相談会を実施してきましたが、引き続き国との連携を密にし広報活動や事業者からの相談などに取り組み、事業者の円滑な対応を支援してまいります。

最後に、今春には天皇陛下がご譲位され、「平成」が終わり新しい時代の幕開けとなります。日本商工会議所は「未来を拓く商工会議所」として、全国515商工会議所のみならず、青年部、女性会との連携も今まで以上に強化し、前述の課題解決に尽力するとともに企業、地域、ひいては日本経済の持続的成長の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

39
チームが
熱戦「全日本製造業コマ対戦
第1回桐生場所2018」

初開催!



初開催された「コマ大戦桐生場所」で39チームがしのぎを削った

の外に出るか、止まった方が負けというルールで、優勝チームは、出場コマを総取りできる。

桐生場所は、コマ大戦協会が定める等級のうち、上から3番目の「G3」として開催され、ランキングのポイントが付与されることから、全国ランキング上位の強豪が各地から集まり、桐生・みどり両市内の12社17チームを含む県内外39チームが出場した。結果は、

全国の中小製造業が自社の誇りを賭けて戦う「全日本製造業コマ大戦」の第1回桐生場所が、12月8日(土)午後2時から桐生商工会議所6階ケービックホールで開催され、500人が来場した。桐生機械工業連合会等が主催、桐生商工会議所工業部会が共催。

全日本製造業コマ大戦は、自作のコマを持ち寄り、一対一で戦う大会。コマは、直径20mm以下、全長60mm以内であれば、材質、重さ、形に制限は無い。行司の合図で、コマを片方の手の指だけで回し、先に直径250mmの専用土俵

の技術力向上につなげていきたい」と語り、桐生場所の成功を喜んだ。

「白楽」の和太鼓によるオープニングや(株)やすらぎ代表取締役の須田忠雄氏から18金製のコマが贈呈されるなど会場を大いに盛り上げた。

マスコミに新商品&サービスPR

「第2回ビジネスプレス発表会」開催

当所が主催する「第2回ビジネスプレス発表会」が、11月27日に会議所会館ケービックホールで開催された。

この発表会は、中小企業・小規模事業者への伴走型支援の一環として、会員事業所が開発した新商品・新製品・新サービスなどをマスコミ記者の方々にPRする場を提供することで、事業所の広報活動ならびに販路拡大を支援するとともに、各種メディアで話題性のある情報発信をしてもらおうと企画したもので、今

回は昨年12月の初開催に続く2回目。

当日は、報道機関や金融機関、行政の関係者など約50名が出席し発表に耳を傾けた。

主催者を代表し挨拶した津久井真澄副会頭は、「発表者には、自社の製品やサービス、日々の取り組みについて、自信を持ってアピールしていただき、一つでも多くの成果を上げ地域経済の活性化につなげもらいたい」と激励した。

この後、事業所の発表に移り、USUT AKIKO GALLERY、染と織襪(くぬぎ)、(株)カッティング・モード、(株)あめつち舎、(有)下山製作所の5社が各社8分の持ち時間で、製品・サービスの魅力や新規性をアピールした。

発表後、桐生商工会議所経営支援委員会による講評が行われ、野沢八千万委員長、海老沢智副委員長の2名が感想を述べた。野沢委員長は、「どの事業所もユニークな取り組み

みで、努力が感じられた。今後、さらなる改善・改良をして、新たなお客づくりに励んでもらいたい」とエールを贈った。

最後は、発表事業所がブースに分かれ、マスコミ記者らとの情報交換会が行われた。プレゼンテーションで伝えきれなかった内容や開発経緯などを積極的にPRしていた。

当所では発表の様子を当所ホームページで公開しているほか、桐生商工日より2月号では発表内容のダイジェストを掲載する予定。

第2回ビジネスプレス発表会の発表企業/テーマは次の通り。

▼USUT AKIKO GALLERY / 大切な方への贈り物だから、あなたの目で確かめて選んでもらいたい「デザイナーと巡る産地の工房」 made in Kiryu "Find a gift, for Christmas"

▼染と織襪(くぬぎ) / 乳ガン患者を救う洋服 KUNU・KUNU (クス・クス)

▼(株)カッティング・モード / 桐生織デザインのパネル

▼(株)あめつち舎 / 玄米クッキー こめぞうくん

▼(有)下山製作所 / 金属加工の体験工房「ものづくり工房 shimo (シモ)」



新商品やサービスをマスコミに向けプレゼンテーション

関東経済産業局長と懇談

両毛五市会議所協議会

両毛五市商工会議所協議会主催の「関東経済産業局との懇談会」が12月10日、館林市で開催され、経済産業局の取り組みなどについて意見交換を行った。

懇談会には昨年7月に経済産業局長に就任した角野然生（かどのなりお）氏をゲストに招き、協議会側からは五市の会頭と専務理事、事務局らが出席、当所からは山口正夫会頭、石原雄二専務理事が出席した。



経産局の取り組みや広域連携について意見交換

角野局長は経産局の重点的な取り組み項目として、①成長産業②地域の「稼ぐ力」強化③インバウンド・アウトバ

経営発達支援事業

外部評価委員会開催

桐生商工会議所は、平成27年7月に経済産業省より「経営発達支援計画」の認定を受け、5年計画で小規模事業者の持続的発展を支援するための各種事業に取り組んでいる。

現在、支援事業実施4年度目を迎えていることから、11月26日に第6回外部評価委員会を開催し、4名の外部評価委員に、当所の支援力向上に向けた取り組みや平成30年度事業の進捗状況について報告した。

この外部評価は、支援計画を効果的に継続していくため、客観的な視点で各種事業を評価分析し、適切なPDCAサイクルを構築することを目的に行うもので、外部評価委員は、支援実績と会員CSアンケート結果等に基づき、適宜計画内容の見直しについて提言を行う。今回は、その中間報告となる場で、30年度前期の実績を確認した。

当所が支援事業のなかで作成した「伴走型支援マニュアル」について、外部評価委員は、「教育ツールとしても有効に活用できる。他地域の支援機関にも紹介してほしい」と高く評価した。また、支援

事業については、「目標に達成していない項目はもちろん既に達成している事業もニーズが多い分野と考えて、積極的に件数を伸ばすべき」と助言した。

今回の評価委員会を受けて、今後は年度末までの実績を最終報告書にまとめていく。

7月に新春互礼会 当所ケータリングで 開催

平成31年桐生商工会議所新春互礼会が、1月7日（月）午後3時から会議所会館6階ケータリングホールで開催される。

当所の役員、議員をはじめ青年部、女性会のメンバーなどが参加し、新しい年に交流を深める。

また、来賓として桐生市長、群馬県知事、地元選出国會議員などが臨席する予定。



再商品化委託申込

受付中
2/8まで

商工会議所では「容器包装リサイクル委託申込み」の受付を行なっています。

法律に基づき「特定事業者」に該当する方は手続きが必要となります。義務を怠ると罰則適用に至りますのでご留意をお願いします。

(1) 容器や包装を利用して自身を販売する事業者

(2) 容器を製造する事業者
(3) 容器や包装が付いた商品を輸入して販売する事業者
事業規模や素材など免除要件がありますので、ご不明点はお早めにご確認ください。

家庭から出るごみの約6割が、商品に付加される「容器」や「包装」です。義務を果たすことで循環型社会の実現に貢献いただけます。

▼申込期限 平成31年2月8日（金）

▼委託申込は、当所工業課まで（TEL 0277・45・1201）

▼特定事業者の判断等は、（公財）日本容器包装リサイクル協会コールセンターまで（TEL 03・5251・4870）

▼容器包装リサイクル法詳細は、ウェブをご覧ください。
（<http://www.jcpra.or.jp/>）

関係団体等 新年会開催日程

- 【社団法人桐生倶楽部新年互礼会】
▽日時＝1月4日（金）正午
▽会場＝桐生倶楽部会館
【上毛新聞社新年交歓会】
▽日時＝1月8日（火）午後0時30分～▽会場＝グリーンルーム前橋
【桐生市繊維団体合同新年会】
▽日時＝1月8日（火）午後5時～▽会場＝桐生地域地場産業振興センター
【桐生商工会議所女性会新春祝賀会】
▽日時＝1月10日（木）正午
▽会場＝桐生プリオパレス
【桐生税務署管内青色申告会連合会及び桐生青色申告会役員新年賀詞交歓会】
▽日時＝1月11日（金）午後5時30分～▽会場＝桐生商工会議所ケービックホール
【公益社団法人桐生青年会議所新年互礼会】
▽日時＝1月17日（木）午後7時～▽会場＝桐生市市民文化会館スカイホールA
【桐生経友会新年会】
▽日時＝1月18日（金）午後6時～▽会場＝桐生市市民文化会館スカイホールA
【桐生群銀会新年会】
▽日時＝1月21日（月）午後5時30分～▽会場＝桐生市市民文化会館スカイホール
【桐生労働基準協会・産業安全衛生祈願祭並びに新年互礼会】
▽日時＝1月23日（水）午後4時～▽会場＝桐生プリオパレス
【笠懸町商工会新春会員交流会】
▽日時＝1月24日（木）午後6時～▽会場＝桐生グランドホテル
【群馬県商工会議所連合会新年互礼会】
▽日時＝1月25日（金）午前11時～▽会場＝前橋商工会議所会館ロース
【桐生商工会議所青年部新年会員交歓会】
▽日時＝1月25日（金）午後6時30分～▽会場＝桐生商工会議所ケービックホール
【東和銀行桐生支店新生会新年会】
▽日時＝2月6日（水）午後6時～▽会場＝桐生市市民文化会館スカイホールA
【桐生商店連盟協同組合新春祝賀会】

▽日時＝2月7日（木）午後7時～▽会場＝桐生市市民文化会館国際会議室
【桐生信用金庫信栄会】
▽日時＝2月15日（金）午後6時～▽会場＝桐生プリオパレス
紙面の都合上、掲載できなかった団体はご了承ください。



2/27 決算書・申告書作成指導会
平成30年度分決算書と申告書の作成指導会を次のとおり開催します。
▽開催日＝平成31年2月27日（水）
▽受付時間＝【午前】午前9時30分～11時30分【午後】午後1時30分～3時30分
▽開催場所＝桐生商工会議所6階ケービックホール
▽対象者＝桐生市内の青色申告者（個人）
※お問合せ 桐生商工会議所 商業課（TEL 0277・45・1201）

毎年大好評!!

桐生商工会議所

“会員感謝の集い”

日 時 平成31年2月22日（金）午後6時
会 場 桐生商工会議所ケービックホール
対 象 会員の方ならどなたでも参加できます。
参加費 無料

今年もやります!

**大福引
抽選会**

アトラクションは

桐生西高校
和太鼓部OBチーム

「白楽」
が登場!!

※詳細は本誌同封の折込チラシをご覧ください。

花一輪のやさしさを...



セレモニーホール 板場

会員様 募集中です。

相生町 1 丁目競艇場北側 ☎ **0120-440444**
<http://www.ceremony-itaba.com/>

Taiyo
Printing Industry Co., Ltd.



あなたの街の印刷屋さん...

太陽印刷工業株式会社

本 社：群馬県桐生市三吉町2丁目7-53 TEL.0277-45-2016 FAX.0277-45-2024
太田営業所：群馬県太田市小舞木町636 TEL.0276-46-6512 FAX.0276-46-6659

謹賀新年



常議員 岸本一也  (株)山田製作所 代表取締役社長	常議員 鎗田実  (株)矢野 代表取締役社長	常議員 菅谷武  (株)ジャパン アイデアセンター 代表取締役	相談役 石原庸右  石原会計事務所 所長	専務理事 石原雄二 	会頭 山口正夫  (株)トヨタロクックス 代表取締役社長
常議員 能澤孝博  (資)オリエンタル 代表社員	常議員 阿久戸高夫  (株)ミツバ 相談役	常議員 竹内靖博  (株)シロキヤ 代表取締役	相談役 北川鮎一郎  北川設計 所長	名誉会頭 佐藤富三 	副会頭 杉山和久  (株)サンフード 代表取締役
常議員 藤生五郎  (株)桐生ソウイング 代表取締役	常議員 市川導宏  (株)市川鉄工 代表取締役社長	常議員 田中栄一  日本ゼウスイ工業(株) 代表取締役社長			副会頭 宮地由高  (有)青柳 代表取締役会長
常議員 朝倉泰  朝倉染布(株) 取締役会長	常議員 岡田哲夫  フジハツ工業(株) 代表取締役社長	常議員 茂子理亨  (株)モギカパン店 代表取締役			副会頭 木村俊一  (株)小野木商店 代表取締役社長
常議員 笠原康利  (株)笠盛 代表取締役社長	常議員 小倉康宏  小倉クラッチ(株) 代表取締役社長	常議員 山本豊  (株)日進 取締役会長			副会頭 津久井真澄  桐生信用金庫 理事長
			常任相談役 福田英雄  東洋ポリース(株) 取締役会長		

謹賀新年



岸田 信克 議 員 (株)近江屋書店 代表取締役会長	柳澤 彰 監 事 柳澤彰 税理士事務所 所 長	小林 克之 常 議 員 桐生典礼(株) 代表取締役会長	平澤 操 常 議 員 平澤建設(株) 代表取締役	押見 新一郎 常 議 員 押見会計事務所 所 長	川村 隆 常 議 員 川村(株) 取締役会長
北川 貴久 議 員 (有)フジヤ 代表取締役	相場 久男 議 員 (有)相場 代表取締役	小林 康人 常 議 員 (株)沼田屋タクシー 代表取締役	吉田 栄佐 常 議 員 (株)吉田組 代表取締役社長	×谷 信良 常 議 員 ×谷信良 税理士事務所 所 長	桑原 志郎 常 議 員 (有)クワテルニット 代表取締役
桜井 勲夫 議 員 (株)サクライデンキ 取締役会長	鶴川 詔八 議 員 (株)アイブレイン 代表取締役	坂入 勝 常 議 員 (株)美喜仁 代表取締役	吉野 雅比古 常 議 員 桐生建設(株) 代表取締役社長	柳澤 一貴 常 議 員 (株)東和銀行 桐生支店 支店長	牛腸 章 常 議 員 桐生絹織(株) 代表取締役
佐瀬 守男 議 員 (株)ホットランド 代表取締役	岡部 信一郎 議 員 オカベバックス(株) 代表取締役	小林 雅子 監 事 小林当織物(株) 代表取締役	秋山 力 常 議 員 (株)両毛システムズ 代表取締役社長	大澤 直也 常 議 員 大澤木工(有) 代表取締役	篠田 一 常 議 員 丸中(株) 代表取締役
高野 智弘 議 員 (株)桐生山葵問屋 高野商店 代表取締役社長	金子 由美希 議 員 (株)桐生さくらや 代表取締役	新見 祐三 監 事 新見化学工業(株) 取締役会長	岡田 昌之 常 議 員 カナイ石油(株) 代表取締役社長	金子 昌弘 常 議 員 金子不動産 代 表	石井 謙三 常 議 員 石井経理事務所 所 長

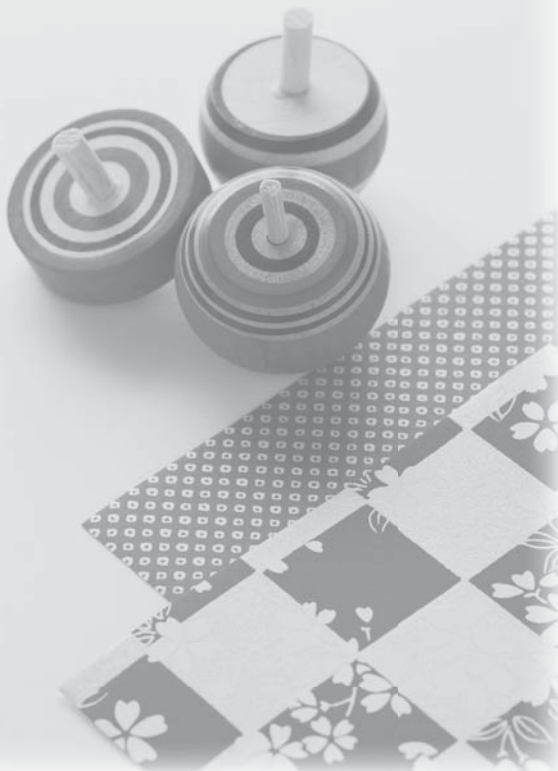
謹賀新年



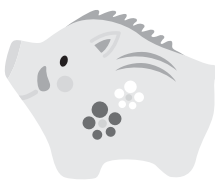
議員 黒澤昇  (株)黒沢レース 代表取締役社長	議員 赤石重男  イツハラ産業(株) 代表取締役	議員 中野幸夫  桐生工業(株) 代表取締役社長	議員 鈴木至典  (株)鈴木機械 代表取締役	議員 大西健太郎  (株)大西ライト 工業所 代表取締役社長	議員 田中桂  桐生中小企業 福祉事業(協) 専務理事
議員 澤田匡宏  丸幸(株) 顧問	議員 荒川智毅  荒川織物(有) 専務取締役	議員 西場伸一  西場工業(株) 代表取締役	議員 須永誠吾  (株)須藤機械 取締役会長	議員 加藤貢  加藤鉄工(株) 代表取締役	議員 本田雄郎  (株)ホンダ 代表取締役社長
議員 松井智司  (株)松井ニット技研 代表取締役	議員 遠坂隆之  遠伊織物(有) 代表取締役	議員 藤井和男  (株)トーワ 代表取締役社長	議員 立澤俊明  (株)アスバックス 専務取締役	議員 栗原健二  (株)モミモ 代表取締役社長	議員 森裕美  森産業(株) 代表取締役社長
議員 柳明彦  (株)ヤナギ 代表取締役	議員 大澤邦博  桐生トリコット(株) 代表取締役社長	議員 森山俊男  (株)梁瀬産業社 代表取締役	議員 田中義弘  (有)ススキワーバー 代表取締役	議員 佐羽宏之  三立応用化工(株) 代表取締役社長	議員 山崎達也  メディアアランド・ ウイング(株) 代表取締役
議員 海老沢智  (株)足利銀行 桐生支店 支店長	議員 栗原清吉  (株)ユーホー 代表取締役	議員 柳沢武利  プラスト精工(株) 代表取締役	議員 網嶋篤夫  (株)LEXIサンウエ LP製作所桐生工場 工場長	議員 新貝隆一  (有)新貝製作所 代表取締役社長	議員 新井智乙  (有)新井工業 代表取締役

謹賀新年

議員 和 田 洋 一  (株)光画社 代表取締役	議員 松 枝 幹  太陽印刷工業(株) 代表取締役社長	議員 福 田 雅 之  東洋ポリーズ(株) 代表取締役社長	議員 岡 部 雅 之  関信ゼベレン(株) 代表取締役	議員 高 橋 界  (株)三興 エンジニアリング 相談役	議員 峰 崎 昌 枝  アクサ生命保険(株) 桐生営業所 所長
議員 山 根 明  (株)山根商事 代表取締役社長	議員 松 井 研 三  プリオホールディングス(株) 代表取締役会長兼社長	議員 川 田 利 雄  (株)桐生旅行 代表取締役	議員 名 村 健 男  協和産業(株) 代表取締役	議員 新 井 茂 男  坂本建設(株) 代表取締役	
議員 木 村 洋 一  (株)桐生タイムス社 代表取締役社長	議員 星 野 正 夫  星野管工(株) 代表取締役会長	議員 大 川 恭 史  桐生水道(株) 取締役会長			
議員 塚 越 隆 史  桐生瓦斯(株) 代表取締役社長	議員 増 田 浩 三  (株)増田コーポレーション 代表取締役	議員 清 水 泰 江  (株)島田組 相談役			
議員 野 沢 八 千 万  (株)フラインガーデン 代表取締役社長	議員 森 末 廣  (株)森エンジニアリング 代表取締役	議員 清 水 哲  清水開発(株) 代表取締役			



2019 謹賀新年 元旦

桐生地区 プラスチック工業会 副会長 長松 孝三 会 長 森 俊男 〃 〃 〃 〃 新田 佐 宮 井 中 羽 原 山 島 信 正 宏 一 俊 孝 一 裕 之 二 男 三		桐生地区 勤労対策協議会 副会長 長山口 正夫 会 長 大澤 正夫 〃 牛 腸 章 〃 〃 〃 〃		桐生機械工業 連合会 副会長 長山口 正夫 会 長 阿久戸 庸夫 〃 〃 〃 〃 津久 岸 阿久戸 庸夫 井 本 一 夫 真 澄 也 夫		桐生商店連盟 協同組合 理事長 長大澤 一豊 副理事長 齋藤 雄一 〃 〃 〃 〃 多 茂 金 今 齋 藤 雄 一 田 木 井 川 守 一 和 理 正 夫 守 一 生 亨 夫 守 一			
		桐生地区産業環境 保全連絡協議会 副会長 長藤 井 秀明 会 長 内田 忠晴 〃 長谷川 知也		桐生税務署管内 税務関係団体 連絡協議会 会 長 小松 守博 役員・会員一同		桐生溶接協会 副会長 長鈴木 啓之 会 長 藤田 茂之 〃 〃 〃 〃 清水 英 毅 茂 大久保 重 男		群馬県 金属プレス工業会 桐生支部 支部長 新貝 隆一 支部長 岩崎 研司	
桐生商工会議所 女性会 副会長 長矢 静子 会 長 増山 野智子 〃 〃 〃 〃 川 赤 山 野 静 子 村 石 山 野 静 子 文 美 子 得 子		桐生商工会議所 青年部OB会 副会長 長藤 掛 和男 会 長 桑原 志郎 〃 〃 〃 〃 坂 柳 入 明 彦 勝		桐生商工会議所 青年部 副会長 長湯澤 裕之 会 長 金 子 裕 之 〃 〃 〃 〃 直前会長 金 子 裕 之 八木 橋 比 佐 樹 岡 茅 園 田 誠 司 増 岡 茅 園 田 誠 司 山 田 野 誠 司 大 晃 知 敏 祐		桐生青色申告会 副会長 長村田 永昌 会 長 遠藤 二三男 〃 〃 〃 〃 役 高 大 遠 藤 二三男 職 瀬 澤 藤 二三男 員 安 實 夫 實 男 同 夫 實 男		ぐんま警察官友の会 副会長 長山口 正夫 理事 市川 導 宏 夫 〃 〃 〃 〃 鍵 田 川 導 宏 夫 実 宏 夫	
 以上の団体は会議所館内に事務局を置く関係団体です。		ファッションタウン桐生 推進協議会 副会長 長山 正夫 会 長 山 正 夫 〃 〃 〃 〃 役 大 牛 津 木 宮 初 山 員 澤 腸 井 村 地 山 口 一 真 俊 由 和 正 同 豊 章 澄 一 高 久 夫		桐生発明協会 副会長 長阿久戸 庸夫 会 長 大西 章 雄 夫 〃 〃 〃 〃 森 塚 根 津 紀 久 雄 裕 越 隆 紀 久 雄 美 史 雄 夫					



海鮮ダイニング

美喜仁館 桐生店 Tel0277-46-3420
美喜仁館 太田店 Tel0276-47-3666
美喜仁館 高崎店 Tel027-364-3377

美喜仁本店 Tel0277-44-5921

お持ち帰り専門店 KATSU
活 美喜仁 Tel0277-44-5921

平成30年

桐生商工会議所の歩み

1月

◆5日 新春互礼会をケービックホールで開催。地元選出国會議員や関係団体、関係諸官庁からの来賓をはじめ、当所の議員、部会幹事、青年部・女性会役員など約240人が参会。桐生市の産業振興と繁栄に向け、決意を新たにしました。

10

一環として桐生のナイフブランド「FURAGUAMASA」を紹介した。

◆13日 当所工業部会（市川導宏部会長）は、桐生市議会正副議長・常任委員長との意見交換会を開催し、平成29年度政策提言事項について状況確認を行った。

◆15日 当所と桐生市、桐生信用金庫による中小事業者と企業退職者（新現役）のマッチング事業「新現役交流会」が、ケービックホールで初開催された。

◆21～22日 当所商業部会（鍾田実部会長）と桐生商店連盟協（大澤豊理事長）が、「中心市街地活性化基本計画」策定と「中心市街地活性化協議会」組織化に向け、長野県飯田市を視察した。

◆23日 「会員感謝の集い」をケービックホールで開催。過去最高の約320人が参加した。25年の永年継続会員の表彰や桐生西高校和太鼓部による演奏、福引抽選会が行われた。



◆19日 第23回ファッショントウン桐生写真コンテストの表彰式が行われた。最高賞にあたる「推薦」には小野武子さん（相生町一）の「元氣な園児」が選ばれた。また、作品展は当所1階ロビーにおいて、31日まで開催された。

◆29日 当所会員増強プロジェクト委員会が開催され、坂入勝氏が新委員長に就任した。

2月

◆7～9日 東京ビックサイトで開催された共同展示商談会「feel NH PON春2018」にブースを出展し、「Room of KIRYU」プロジェクトの



3月

◆8日 当所環境・生活部会（岡田昌之部会長）の視察研修が行われ、国際食品・飲料展「FOODEX JAPAN 2018」（幕張メッセ）を見学した。

◆9日 当所青年部（金子督会長）と高崎市の30～50代の青年経済人との交流会が開催された。

◆27日 当所の通常議員総会がケービックホールで開催され、平成30年度の事業計画、各会計収支予算案が決議された。

4月

◆1日 平成30年度がスタート。スローガンは、「経営発達支援計画の実践による中小・小規模事業者への『伴走型支援』を推進しよう」、「計画的な事業承継対策に取り組もう」、「桐生・みどり両市の広域経済交流を促進しよう」、「近代化産業遺産や地域資源を活用した産業観光を推進しよう」、「桐生活性化につなげる地方創生に取り組もう」、「会員事業所の繁栄と発展に取り組む、併せて『2000』会員を目指す」の6項目。

◆25日 当所青年部の定時総会がケービックホールで開催され、役員の改選で初山大一郎氏を会長に選任した。

5月

◆14日 当所と桐生ものづくり協同組合（岡部利明理事長）は「外国人技能実習制度の活用セミナー」を共催した。

◆15日 当所工業部会（市川導宏部会長）と桐生機械工業連合会が特別セミナーを共催し、「人口知能は世の中をどう変えるか」について講演が行われた。

◆29日 当所と桐生市、桐生信用金庫による「事業承継案アンケート調査結果に関する合同記者会見」が開

催され、小規模事業者の65%以上が後継者問題に課題を持つことが報告された。

◆29日 ファッショントウン桐生推進協議会の第22回定時総会がケービックホールで開催された。総会終了後は、望月照彦氏による特別講演会「2018わがまち風景賞」の表彰式も行われた。

6月

◆2日 第29回会員ゴルフ大会を開催、83名が参加した。優勝は、一般の部が新井一史さん、シニア・レディースの部が篠原勝枝さんだった。

◆4日 当所と桐生商店連盟協（大澤豊理事長）は連名で「中心市街地活性化基本計画」の策定と「中心市街地活性化協議会」の組織化を求める提言書を亀山豊文桐生市長に提出した。



◆19日 当所の通常議員総会がケービックホールで開催され、平成29年度事業報告並びに各会計の決算議案が上程され、いずれも原案通り承認された。

◆21日 当所女性会（矢野静子会長）の視察研修が行われ、造幣局さいたま市局と自衛隊朝霞駐屯地を訪問した。

計画策定の際は保証協会の費用補助をご活用ください

群馬県信用保証協会では、創業支援や経営支援、事業承継支援、生産性向上支援において、中小企業診断士等の専門家による計画策定等にかかる費用を補助する事業を行っています。積極的にご活用ください。

営業時間にご利用いただける窓口相談とご連絡いただければ当協会職員が直接伺う出前金融・経営相談を行っています。創業応援チーム、女性創業応援チーム「シルキー クレイン」も是非ご活用ください。

創業・経営・再生「三つの支援」と事業承継支援で企業の明日を積極サポート!

群馬県信用保証協会

桐生支店 ☎0277-43-6211(代) 桐生連絡所 ☎0277-45-1201(代)

桐生市錦町3-1-25(桐生商工会議所会館内) 詳しくは<http://gunma-cgc.or.jp/>まで

G U N G I N K E I E I C L U B

あなたのビジネスサポーター

ぐんぎん経営倶楽部

“ともに学ぶ” “交流する” “相談する” “体験する”
貴社のビジネスをバックアップする多彩なサポートメニューを提供します。

入会金・年会費無料! 一部のセミナー、勉強会などでは参加費をいただく場合があります。

お問い合わせ 群馬銀行 法人部 コンサルティング室内「ぐんぎん経営倶楽部」事務局
〒371-8611 群馬県前橋市元総社町194

TEL. 027-254-7315

受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、12/31~1/3を除く)

群馬銀行

7月

◆1日 会員サービスの 일환として、加盟店で提示することで特典が受けられる「KBIC(ケービック)カード」がサービスを開始した。会員事業所間でメリットを循環させることが狙いで、サービスを提供する加盟店には、70事業所以上が事前登録した。



◆2日 正副会長、専務理事が桐生地域の産業振興と活性化につなげるため、重要課題を各部会・委員会で協議し集約した29案件の政策提言要望書を亀山豊文桐生市長と福島賢一桐生市議会副議長に提出した。

◆5日 平成28年度以降の新入会員を対象に「新入会員歓迎交流会」を開催し、会議所の支援サービスや制度の紹介や役員議員との情報交換会が行われた。

◆11・12日 当所商業部会(鍵田実部会長)の視察研修が行われ、岩手県紫波町を訪問した。

◆24日 当所常務委員会の席上、名誉議員に小金沢啓人氏が委嘱された。

8月

◆3日・5日 第55回桐生八木節まつりが3日間にわたって開催され、

猛暑の影響によりジャンボパレードなど一部イベントが中止になる一方、航空自衛隊「ブルーインパルス」の展示飛行が話題を呼び、期間中は62万人の人数で賑わった。



9月

◆12日 第60回群馬県商工会議所議員大会が沼田市・ホテルペラヴィータで開催された。群馬県内から役員・議員など約300人が参加、県内10会議所から出されていた要望事項などが大会で取りまとめられ、決議を行った。

◆14・17日 当所環境・生活部会(岡田昌之部会長)の視察研修が行われ、香港・マカオを訪問した。

10月

◆1日・4日 桐生市「海外販路開拓支援事業」の一環で、津久井真澄副会長が亀山豊文桐生市長らとともに台湾を訪問した。

◆7・9日 当所工業部会(市川導宏部会長)の視察研修が桐生機械工業連合会と合同で行われ、長崎・福岡を訪問した。

◆16日 当所繊維部会(朝倉泰部会長)の視察研修が行われ、造幣局さいたま市局と自衛隊朝霞駐屯地を訪

問した。

◆21日 婚活イベント「桐コン」恋する garden party(ガーデン・パーティー)が、桐生グランドホテルで開催された。当所青年部(初山大一朗会長)が主幹し、男女100人が出会いを求め参加した。

◆8日・10日 当所建設部会(吉田栄佐部会長)の視察研修が行われ、愛媛・香川・徳島方面を訪問した。

◆26日・11月4日 第23回桐生ファッションウィークが市内全域で開催された。北関東で初開催されたクリエイターによる販売会「クリーマ・クラフト・キャラバン」や、大矢石のノコギリ屋根工場「旧曽我織物工場」が会場として初めて開放され、多くの来桐者で賑わった。



◆28日 平成30年度群馬県功労者表彰の受賞者が発表され、当所山口正夫会長が商工功労分野で受賞した。

11月

◆1日 愛知県商工会議所連合会業務調査研究会が来所し、当所が取り組む経営発達支援計画に基づく経営指導内容について視察研修した。

◆13日 当所青年部(初山大一朗会長)の経営勉強会が東京で行われ、(株)トリドリジャパンやサントリイ(株)を訪問した。

◆16日 第25回会員ボウリング大会を開催。56名が参加、優勝は男性の部が早川仁さん、女性の部が村岡君江さんだった。

12月

◆6日 第2回ビジネスブレス発表会を当所ケービックホールで開催し、5事業所が参加した。参加事業者は新製品やサービスと出席したブレス関係者や金融機関に向けPRを行った。

◆8日 「全日本製造業コマ大戦桐生場所2018」が当所ケービックホールで初開催された。両毛ものづくりネットワーク、桐生機械工業連合会、当所工業部会(市川導宏部会長)が共催し、市内製造業を中心に全国から39チームが参加する中、(株)岩沼精工(宮城県)が優勝した。



※記載されている役職名は当時のものです。

NTT東日本の「おまかせサイバーみまもり」で安心!

情報セキュリティリスク

無料診断実施中!

お気軽に
ご相談ください

Tel.0120-027606

【受付時間】9:00-17:00(土日・休日・年末年始を除く)

NTT東日本 群馬支店

K18-1568【1901-1901】

インターネットのことなら何でも

インターネット
接続サービス

ホスティング
サービス

セキュリティ
サービス

専用線接続
サービス

ホームページ
作成サービス



サンフィールド・インターネット

群馬県桐生市広沢町3-4025 フリーダイヤル0120-55-0520
http://www.sunfield.ne.jp/ office8@sunfield.ne.jp

両毛市ネットワークコーナー

会頭年頭あいさつ



両毛五市（足利・佐野・館林・太田・桐生）の商工会議所では、協議会を設け様々な共同事業を実施して地域の交流を図るとともに連携を深めている。新年にあたり、各地商工会議所会頭の年頭所感の中から平成31年の重点事業、重点項目などを抜粋し紹介する。（桐生は一頁の山口会頭挨拶を参照）

館林



館林商工会議所 会頭 一本 河 榮

新年明けましておめでとう
ございます。皆様方におかれ
ましては、輝かしい新年をお
迎えのことと存じます。

館林商工会議所では、昨年、
中央通りの道路拡幅に合わせ
た商店街診断や茂林寺周辺観
光イノベーション計画の検討
を進めてきました。また、地
元就職を促すための企業ガイ
ダンスの開催や激辛・激甘・
激冷グルメ総選挙、まちゼミ、

事業承継アンケート調査、創
業なんでも相談会、まちづく
りリノベーションスクールの
開催、また、両毛五市連携事
業として広域観光の推進や事
業承継など直面する課題への
検討を進めてまいりました。
平成31年は、あらためて原
点に立ち返り、「キラリと輝
く企業、産業、まちづくり」
に努力を傾注したいと思いま
す。

そのため、1. 商工会議所
の存在意義を高める活動、2.
地域内の企業数の維持・拡大
を図る、3. 会員企業の生産
性を高め、販路の拡大を図る、
4. 観光振興による交流人口
の拡大を図る、5. 人材を確
保・育成する活動を柱に、事
業の展開を進めてまいります。

太田



太田商工会議所 会頭 寛 田 正

本年が皆様方のご健勝と企
業の飛躍の年となりますよう
ご祈念を申し上げ、年頭のあ
いさつといたします。

平成31年の新春を迎え、両
毛五市の商工会議所会員の皆
様へ謹んでご挨拶を申し上げ
ます。

両毛地域は、歴史的に太平
記の時代から相互に深い関係
にあり、地勢的にも利根川と
渡良瀬川流域に位置しており
ます。このような中、両毛五
市商工会議所は永年に亘り交
流を続け、連携事業を展開し
て参りました。特に婚活事業
は当所が平成25年から先行開
催し、平成28年からは両毛五
市商工会議所の広域連携事業
として取り組んで参りました。
この「婚活パーティー」は6
年間で18回開催、参加者数5
800人を数え、カップル成
立数は833組と大きな成果
を挙げることができました。
このように単独の商工会議所
では成し得ないことが連携協

力事業であれば大きな成果に
繋がるものと考えます。

また、この地域には古くか
ら足利学校のような教育機関
が創設されるなど文化レベル
の高い地域であったものと思
われ、現在では群馬大学・足
利大学・関東学園大学等の協
力により地域産業は支えられ
ています。このように地域の
大学と産業が有機的に連携す
ることにより、両毛地域はシ
リコンバレーのように発展す
る可能性を秘めた地域である
と考えております。夢かもしれ
ませんが当地域が「利根・
渡良瀬バレー」として大きく
躍進することを祈願すると
もに、この平成31年が皆様方
にとりまして、明るく希望
に満ちた年になりますことを
祈念申し上げますといたし
ます。

足利



足利商工会議所 会頭 早 川 慶治郎

両毛五市商工会議所会員の
皆様には、佳き新春をお迎え
のことと心よりお喜び申し上
げます。足利商工会議所は、

「人づくり」「モノづくり」
「まちづくり」を基本理念と
して、各事業に具体的な成果
を出すべく取り組んでいます。

「人づくり」は、第一に足
利流5S活動の推進です。昨
年は足利5S学校と連携して
「第4回足利流5Sサミット」
を開催、全国から3000名が
参加し足利流5Sを周知しま
した。小規模事業者の5S取
り組みも50事業所を超えるな
ど成果を上げています。「も
のづくり」は、第4回認定の
足利ブランド33事業所39品目
を市内外に普及促進し、併せ
て新商品開発等の支援を行っ
ています。「まちづくり」は、
足利の歴史、文化、花と光の
特色を活かした四季折々の祭
りや足利市と連携して「灯り
のある街づくり事業」を展開
しています。この冬は、2月
3日の「鎧年越し」に始まり、
市内飲食店等の特別企画「足
利風土祭」のほか銘仙灯り、
刀剣展、足利まちゼミなど、
まちなかの賑わいを演出しま
す。

足利商工会議所は4400
余の会員事業所の期待と信頼
にこたえるため、一層の緊張感
をもって各事業を展開してま
いりますので、今年一年よろ
しくお願い申し上げます。

佐野



佐野商工会議所 会 頭 矢 島 堅 司

平成31年の新春を迎え、両毛五市商工会議所の皆様に、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

政府の月例経済報告によると、景気は、「緩やかに回復している」としておりますが、「佐野市景況レポート」では、平成30年1月以降連続して景況感が悪化しております。

このような状況を踏まえ、地域内の消費活動と、経済循環を促進することを目的に、プレミアム付き商品券に代わって「電子地域通貨」の導入を検討してまいりたいと考えております。システム構築費用など課題がありますが実現に向け研究と協議を進めていきたいと考えております。

さて、喫緊の課題といたしましては、事業承継や人手不足があります。商工会議所としては、関係機関との連携や国の支援施策も活用しながら支援してまいります。

なお、広域的な取り組みとしまして、両毛五市商工会議所で連携して、事業継承や観光振興に対する取り組み、また婚活事業を展開しておりますが、さらなる連携を図ってまいりたいと考えております。結びになりますが、両毛五市商工会議所の皆様には、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、会員事業所の益々のご発展をご祈念申し上げます、新年の挨拶いたします。



職訓センターで

2 講座

1 医科クリニック医療事務講座

▽期日 2月15・20・22・27日の水・金曜日(全4回)
▽時間 午前10時～午後4時
▽内容 病院・クリニック等外来で必要な医療事務の基礎知識を身に付け、点数及び診療報酬の算定方法を学びます。就職希望者には仕事説明会・相談会を行います。

▽募集人員 20人(抽せん)
▽受講料 市内に居住または通勤する人は510円(それ以外の人は1020円)
▽テキスト代 9000円
▽申込締切 2月1日(金)

2 将来に備える！退職後の人生設計講座

▽期日 2月20日(水)
▽時間 午後6時30分～8時30分

▽内容 退職後の人生の不安を少なくするため、年金についての正しい知識や間違った情報を確認し、在職からのライフプランの立て方やリタイアメントプランニングを学びます。

▽募集人員 20人(抽せん)
▽受講料 市内に居住または通勤する人は260円(それ以外の人は520円)
▽テキスト代 無料

▽申込締切 2月5日(火)
【共通事項】

▽場所 桐生市職業訓練センター(相生町5)
受付時間は、月・金曜日の午前9時から午後5時まで。土・日曜日は休館です。詳しくは桐生市職業訓練センター(Tel 0277・54・2101)へ。

平成31年度

障害者雇用納付金制度事務説明会

障害者雇用納付金等申告・申請説明会を開催しますのでご参加ください。

★日程

〈納付金・調整金説明会〉何れの日も「対象者」を変え「午前」「午後」の2回開催します。
第1回/2月7日(木) (高崎) 第4回/2月21日(木) (太田)
第2回/2月14日(木) (太田) 第5回/2月26日(火) (高崎)
第3回/2月19日(火) (前橋)

〈開催時間/対象者〉

10:00～12:00 / 申告申請経験者 3月5日(火)
13:30～16:00 / 初めての担当者 10:00～12:00 (前橋)

★会場

高崎: ポリテクセンター群馬 太田: 太田市学習文化センター
前橋: 〈納付金・調整金〉群馬県 JA ビル
〈報奨金〉群馬県障害者職業センター (ハローワーク前橋)

お申込・お問合せ先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
群馬支部 高齢・障害者業務課
TEL.027-287-1511 HP:<http://www.jeed.or.jp/>

～障害者雇用を実現する方法を教えます～

障害者雇用支援セミナー

平成30年度より障害者法定雇用率2.2%に引き上げられました。そこで、障害者雇用の促進を図るため、セミナーを開催します。

日 時 平成31年2月21日(木) 13:30～16:00

第1部 「移行ゼロを目指して！」

～私たちは、こうして就職させました～

「障害者就職面接会を利用した採用」

～精神障害者を雇用するまで～

第2部 情報交換会

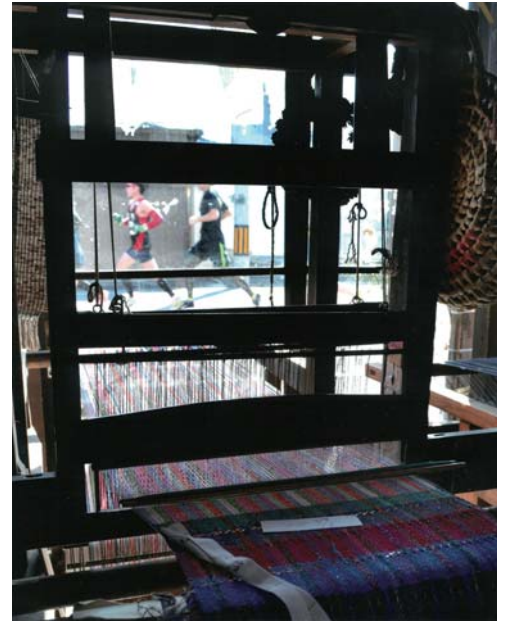
場 所 桐生市市民文化会館 第1会議研修室

対 象 ・企業の人事担当者
・現場で直接指導を担当される社員の方
・福祉作業所の指導員の方など

定 員 35名程度

問合せ先 桐生公共職業安定所 専門援助部門
TEL.027-226-3342

第24回 ファッションタウン桐生 写真コンテスト審査結果



推薦「織都桐生・快走」高山 勉さん（右）
特選「見つめる」森 敏彦さん（左）・「まつりの華」武藤和浩さん（中）

「第24回ファッションタウン桐生写真コンテスト」の審査会が昨年12月12日に当所会議室で開かれ、28点の入賞作品が決定した。

同写真コンテストはファッションタウン推進運動の一環として公募していたもので、桐生の催事や地域資源、観光資源などを掘り起こしてカメラに捉え、ビジュアルな形で情報発信していくために毎年開催している。

今回は、桐生の伝統産業や自然、街並み景観、イベントなどのほか、桐生八木節まつりや11月の桐生ファッションウィークの参加行事などを撮影した163点（66名）の作品が集まった。

審査会は㈱プロフォトセンタリーの斉藤民治氏と群馬県写真材料商組合桐生支部長の細田頼男氏を特別審査員に、協議会の各委員長、事務局長らが委員となり審査を行った。

この結果、最高賞の「推薦」には織機と堀マラソンのランナーを撮影した高山勉さん（太田市）の『織都桐生・快走』が選ばれた。「織都桐生」を象徴する手機に架かる経糸の美しい色彩と、窓越しのランナーの躍動感とコントラストをとらえた技術が高く評価された。

また、「特選」には、桐生八木節まつりで初飛行を果たしたブルーインパルスが本町五丁目上空で大輪を描く様子を、それを見守る大衆とともにとらえた武藤和浩さん（宮前町一）の『まつりの華』と、クラシックカーフェスティバルin桐生で催された子どもお絵描き大会の一幕で、モチーフに送られる少年の鋭い視線を収めた森敏彦さん（川内町三）の『見つめる』が選ばれた。

応募作品も含めすべての作品は「ファッションタウン桐生写真展」として桐生商工会議所会館一階ロビーで展示される。（1月4日～31日）

入賞作品並びに撮影者は次のとおり（敬称略）。

【推薦】

『織都桐生・快走』

高山 勉

【特選】

『まつりの華』

武藤 和浩

『見つめる』

森 敏彦

【準特選】

『憩いの場』

山田 欣司

『笑って、笑って』

横坂 正行

『離子に合せて』

谷澤 滑治

『駅前点燈式』

綾部 すが

『人力車が行く』

小野 武子

【入選】

『ちびっ子八木節』

坂本 洋

『未来創生塾生
新たな歴史に第一步』

河村 優希

『みこし渡御』

近藤 義明

『ある風景』

大隅 博

『準備はOK?』

米田 籌穂

『重伝建を走る』

森下 俊夫

『ブルーインパルスin桐生』

小野 吉英

『古社の彫刻』

日永 和子

『一番列車』

田沼慎一郎

『気持ちいい!』

反町 雅

『佳作』

『チューリップ写生』

坂本たつ江

『歓迎ニューイヤーマラソン』

藤生 孝昭

『祭り上空を飛行する』

菊池 徳

『職人』

新井 美可

『62万人の熱気』

坂主 樹哉

『ヤットセー!!』

鈴木 章一

『広沢を走る「マユ」』

石川 恒夫

『品定め』

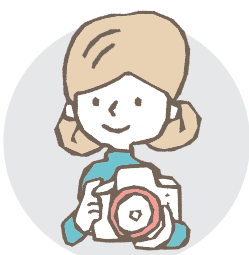
中村 鉄雄

『ライトアップ』

安藤 嘉一

『春うらら』

村岡 俊村



桐生商工会議所スケジュール

はコチラ → http://www.kiryucci.or.jp/html/20_calendar.html



1月 無料 相談会 開催のお知らせ

- 行政書士なんでも手続き相談……………1月18日(金) 午後1時30分～午後3時30分 当所2階 相談室
 - 法律相談……………随時予約を受け付けます
- (連絡先: 桐生商工会議所 Tel.0277-45-1201)

米国インディアナ州貿易投資セミナー

新しい戦略でアメリカ市場に挑戦!

～ローコスト＆ローリスクでアメリカへ事業展開する方法～

日時 平成31年2月7日(木) 13:30-16:00

場所 ティアラグリーンパレス (太田市細谷町1番地)

内容 (1)インディアナ州投資環境、日系企業の現状、IEDC (インディアナ経済開発公社)・ISBDC (インディアナ州中小企業開発センター) 支援プログラム
(2)ISBDCプログラムの実践、新しい戦略的な活用法

参加費 無料 定員 40名 (定員になり次第締切)

主催 群馬県、米国インディアナ州政府駐日代表事務所

申込・問い合わせ 群馬県産業経済部工業振興課海外ビジネス支援室

TEL: 027-226-3359 E-Mail: kaigai-business@pref.gunma.lg.jp

『よろず出張相談会』 開催のお知らせ

売上げ拡大、経営改善など経営上の
様々なご相談に無料で対応します。



開催日 1月18日(金)

時間 午前9時～12時・午後1時～4時

会場 桐生商工会議所 2階 相談室

申込・問い合わせ

桐生商工会議所(商業課) ☎0277-45-1201まで
※相談は予約制です。

新入会員の紹介

ご入会ありがとうございました。
(平成30年11月26日～12月20日現在)
(順不同・敬称略)

部会	事業所名	代表者	業種	住所
商 業	水戸正商店	青 木 基 祐	鮮魚店	本町
環境・生活	(有)アン・トラン	桑 原 昭 啓	洋食	境野町
環境・生活	居酒屋 割烹 大川	大 川 榮 一	居酒屋、フグ料理	境野町
建 設	大澤電気商会	大 澤 寛 之	電気工事業	東久方町
建 設	雅工業	中 里 雅 美	とび、土工、エクステリア	相生町
理財・厚生	公益財団法人 大川美術館	田 中 淳	美術館	小曽根町

従業員の健康増進
仕事と子育ての両立をサポート



厚生労働省大臣認定 子育てサポート企業
全国健康保険協会登録 生き生き健康事業所
農業用資材販売

三高産業株式会社

群馬県桐生市境野町 7-1860 TEL: 0277-43-7181 FAX: 0277-43-5380

まごころ一番 桐生興礼会館

事前相談24時間
承ります

☎0277-55-0101
☎0120-552601

経営者の皆様へ

自社のニーズに合った人材を育成するために

ジョブ・カードを活用した「有期実習型訓練」を実施しませんか?



この訓練は、一定の要件を満たしている場合、訓練の終了後に国から人材開発支援助成金(特別育成訓練コース)が支給されるので、訓練の実施に要するコスト負担を軽減できます。

詳細は下記へお問い合わせください。

桐生商工会議所または太田商工会議所/群馬県地域ジョブ・カードサポートセンター TEL.0276-45-2121
ジョブ・カード事業HP <http://www.jc-center.jp/>

クリエイティブオフィスを創造するクリエイティブファクトリー



ISO14001・9001認定取得企業
労働大臣 優良賞・進歩賞 受賞工場
通産省ニューファクトリー選定工場
群馬県中小企業モデル工場

株式会社 トヨダプロダクツ

本社・工場：〒376-0011 桐生市相生町3丁目800-3
TEL：(0277) 52-8811・FAX：(0277) 52-8830
第一工場：〒376-0002 桐生市境野町2丁目822
TEL：(0277) 44-8811・FAX：(0277) 44-8830

<http://www.toyoda-p.co.jp>



株式会社 **サンフード** ●事業本部●
みどり市笠懸町鹿5-3
TEL.0277-76-8187

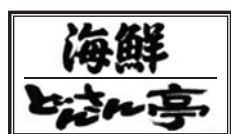


相生店 52-9700
新宿店 22-4129

安さがおいしい
楽しさがおいしい



新宿店 46-4129



新宿店 46-5222



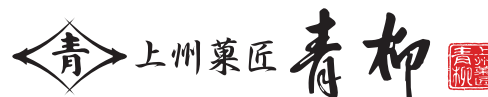
相生店 52-9800



本町店 22-8855



近代化産業遺産（青柳本社）



本社 桐生市東7-3-62 ☎ 0277-46-7098
本店 桐生市本町5-364 ☎ 0277-22-0303
ノコギリ屋根店 桐生市東7-3-62 ☎ 0277-45-2120
相生店 桐生市相生町2-837 ☎ 0277-53-8771
笠懸店 みどり市笠懸町阿左美591-4 ☎ 0277-30-8165
太田西本町店 太田市西本町5-35 ☎ 0276-52-8684
太田二ツモル店 太田市新田市新井町592-13 ☎ 0276-57-2851
前橋元総社店 前橋市元総社町2468-1 ☎ 027-254-3343
伊勢崎連取店 伊勢崎市連取町3336-7 ☎ 0270-75-4820



産地織物元卸商

株式会社 小野木商店

代表取締役社長 木村 俊一

〒376-0011 桐生市相生町2-230-1
TEL.0277-53-5131(代) FAX.0277-53-5150



ALL FOR SMILE

～ すべては笑顔のために ～

 桐生信用金庫